

花の持つ魅力を伝え、島田を花でいっぱいしたい――

「島田市花の会」の会長として、市内小学校の新入生や公共施設に花を贈呈するなど、精力的に花の普及活動に取り組んでいる永野さん。会員たちと助け合いながら、花の魅力を伝え続けています。

【花に親しむ】

10年前に花の会へ入会し、活動を始めた永野さん。

「定年退職してから、自治会の役員をやっていた時に、知人から誘われたのがきっかけでした。最初は軽い気持ちで、ただ少しでも地域のためになればという、ちよつとしたボランティア精神から参加したんですよ」



「それまでは、花を見話します。」

ることとも育てることとも無縁の生活でしたが、活動をはじめからはその魅力を感じようになりました。元々実家が農家だったので、幼い頃から農作業の手伝いをしていたので、すぐに楽しく

る力を、子どもたちにも伝えたい。そんな思いから、花の会では約20年前から第四・第五小学校の入学式で、ビオラのポット苗を新1年生にプレゼントしています。

「ビオラはポットで育てて



花の魅力を伝える 花の会 会長
永野 隆夫さん（元島田）

なつていきました。見ていただけで心が優しく大らかになるなんて、花が持つ魅力に気付かされましたよ」

【心と暮らしを花で豊かに】
花が心を優しくしてくれ

も、なかなか大きくならないんです。だから、花壇で大きく育てる必要があります。入学式で贈るために、9月から4月まで半年間、大切に育てて晴れの日に備えています。児童だけでなく、その両親や家族に

も、花に親しむ気持ちを持つてもらえればという思いで続けてきました。今年は新たに、大津小と六合小でもポットを贈呈しました。優しい心を育む花のある生活を、市内全体に伝えていければと思っています」

【「花育」で心を豊かに】

「多くの新入生に花を贈る時などは、苗を育てるのもひと苦労です。会員数もだんだんと減ってきているので、花が好きなら気軽に参加してもらい、活動をもっと広げていきたいですね」と永野さんは、花の会の今後を見据えています。

「最近、花を通じて子どもたちの情操を育てる『花育』にも、注目が集まっています。いずれは島田でも、親と子を取り組む寄せ植え教室など、花育を広められればと思っています」

花づくりは人づくり。心も花のようにきれいな人が溢れるまちを目指して、永野さんは花を通じて、多くの人に優しい気持ちを届け続けています。



ビオラをはじめ、苗場では会員たちが丹精込めて育てている花が並ぶ

Shimadajin File #69

Story

島田人